

2018.9.15

こんにちは わ ーど

No.67

半田国際交流協会だより

7月8日 日本語教室で「七夕」を紹介しました

日本語教室の後、七夕の紹介をしました。短冊にそれぞれ願いごとを書いて笹に飾り、みんなで「たなばたさま」や「ふるさと」を歌いました。短冊には、離れて住む家族の幸せや自分の夢など、日本語で一生懸命書きました。



▲願いが叶いますように！



▲ギターに合わせてみんなで合唱



▲一枚一枚、心を込めて



9月9日 日本語教室で「防災勉強会」を行いました

日本語教室で、災害の前に備えておくもの、地震が起きたらどうするかなどの基本的なことを学びました。



▲机の下にもぐる訓練



生徒の感想

「外国人は防災意識があまりないから、今日は自分をどうやって守るかがわかり、とてもよかった。」(中国)

「何回も防災の言葉を聞くと、意味が理解できると思うので、何回もやってほしい。」(ブラジル)



▲ボランティアの板倉先生

半田国際交流協会にご入会ください！

会員募集

年会費	個人会員	2,000円
	団体会員	10,000円
	法人会員(1口 5,000円)	
	・従業員数 1名～29名	1口以上
	・従業員数 30名～49名	2口以上
	・従業員数 50名～	4口以上

申込先: 半田国際交流協会(雁宿ホール内1階)
TEL: 0569-26-1929 FAX: 0569-26-1992
E-mail: hia@poplar.ocn.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.handakokusai.aichi.jp>

半田国際交流協会 検索



Midlandへ3人の高校生を派遣 (半田市事業)

姉妹都市である、アメリカ ミシガン州ミッドランド市とは、1981年の姉妹都市提携の翌年から、隔年で相互に交換生を派遣しあう事業を行っています。今年は、7月23日～8月13日までの3週間、3名の学生を派遣しました。感想をご紹介します。



「幼い頃からの憧れ」

竹内 理紗(サンデザイン専門学校 3年)

ミッドランドに行く前に目標としていた日本文化での交流は、無事果たすことができました。ふろしきのおもしろい包み方、折り紙、筆で書く飾り文字を教えたり、子供に着物を着付けたりして、日本文化を数多く理解してもらうことができました。また、ホストファミリーとの交流で心がけた、自分にしかできない交流も果たすことができました。ぬいぐるみの服を手縫いしたり、日本の花やキャラクターを描いたりしてホストファミリーに渡すと、感激し、喜んでくれました。

海外のアートやヒストリーに触れるのは、私の幼い頃からの憧れでした。様々な美術館に行った中で特に印象に残っているのは、ミッドランドの美術館とデトロイトのDIA美術館です。ミッドランドの美術館は、何軒か連なる小さな家の中にあります。そのアートは、力強い生命力があって細胞の動きをイメージさせてくれます。しかし繊細で色のにじみや混ざりをすごく素直に利用していて、まるで私達生命体の心の中の複雑な葛藤や稼働を表現しているような気がしました。

DIAでは、有名な絵画や彫刻、歴史的な古代の道具などが展示されています。絵画はよく見ると、肌の中に緑があったり黄色があったり、複数の色で1つのパーツを描いていました。彫刻は、まだ少し削った形跡や失敗したと見られる場所も味として残っていて、自分にとってすごくいい刺激になりました。

この3週間は時の流れが早く、充実していました。私の今後の人生やふとした時間の中で何度も繰り返し思い出されることでしょう。



「刺激的な3週間」

白川 雄基(半田高校 2年)

僕は初めて日本の外に出た。ミッドランドまで行くのに丸1日かかり、とても疲れた。アメリカは言語、生活リズム、食文化、物のサイズなど、日本とは違うと分かっていたつもりだったが、いざ実際にアメリカでそれを実感した時は、やはり驚いた。

時差ボケ、言語、生活習慣の違いにより戸惑ったが、ホストファミリーをはじめ、多くの方々のおかげでとても楽しむ事ができた。ミシガン湖、ヒューロン湖、マキナック島、フランケンムースなどたくさんの場所に連れて行ってもらった。ハンバーガー、ホットドッグ、ドーナツ、アイスクリーム、ターキーなどたくさん食べた。どの食べ物も美味しかったが、全部食べきるのは大変だった。夜、食後のデザートにアイスクリームを食べに行った時、Sサイズを頼んだが出てきたアイスは全然Sサイズじゃなくて大変だった。ホストファミリーの家は大きくて方向音痴の僕は迷子になりかけた。ミシガン湖とヒューロン湖を初めて見た時は向こう岸が見えず、海だと思った。また、スーパーマーケットには日本食コーナーがあり、どの街にも日本のとは違ったけれども寿司屋があった。自分が思っていたよりも日本文化が広まっていた驚いた。

どの体験も日本ではできないようなことばかりでとても楽しかった。僕にとって人生で最も幸せで、最も刺激的な3週間になった。このプログラムのおかげで将来のことを決める良いきっかけになった。サポートしてくださったたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、過ごして行きたい。そしていつかミッドランドへまた行きたい。



「すべてが初めて」

後藤 優佳(旭丘高校 2年)

私は、今回ミッドランド派遣生として初めてアメリカを訪れました。

ミッドランドはとても自然が豊かで、住宅街を歩いていてもリスやウサギを見ることが出来ます。少し郊外に行くと鹿をよく見ました。家の中は置物や写真がたくさんあって綺麗でした。地下空間があるのが当たり前というのが驚きでした。朝晩はだいたい20度くらいまで冷え込みます。昼は暑くても30度で湿度は高くありません。とても過ごしやすかったです。歩道に花が植えてあり、長い歩道の横にぎっしりと植えてありました。すべてボランティアだそうです。とても素敵なことだなと思いました。

長さの単位はインチやフィートを使っていたため、身長を聞かれても伝わりませんでした。車の速度のメーターもマイルが基準です。また、重さはポンドで温度は華氏です。

アメリカのレストラン等では、表示してある料金のほかにチップを払う必要があります。私はあまり払う機会はありませんでしたが、わかりづらい制度だなと思いました。

私はこの3週間でホストファミリーにさまざまなところに連れて行ってもらいました。世界で一番大きいフランケンムースにあるクリスマスの店は、すべて見て回るのに何時間もかかります。また、私は今回初めてキャンピングカーに乗せてもらいましたが、まるで本当の家のように広くてとても驚きました。冷蔵庫、シャワー、オープン、流し台やテレビまでついていました。キャンプファイヤーでは、周りに生えていた木の枝にソーセージを突き刺して焼き、ホットドッグにして食べました。昔からのキャンプの伝統だそうです。

今回のアメリカ滞在を通して、自分の中で何かが変わった気がします。今まで関わりが薄かった分野に対して興味がわきました。今回のプログラムに参加出来て本当に良かったと思います。またいつかもう一度訪れたいです。



ブータン王国訪問

2005年の愛・地球博で、フレンドシップ相手国となったブータン王国との交流は、半田ブータン青少年交流協会が活動を進めています。今年は、市民訪問団4名、半田ロータリークラブメンバー11名の計15名が幸福の国ブータンを訪れました。

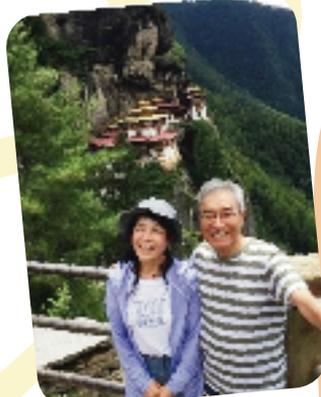
「ブータンを訪れて」

藤本 哲史

8月17日から24日まで、半田ブータン青少年交流協会主催の「ブータン王国訪問団」に妻と共に参加して、ブータンを訪れてきました。

ブータンの第一印象は、独自の文化をしっかりと守りながらも、どこか懐かしさを感じさせる人と国でした。思い出深かったのは、断崖絶壁に建つ、ブータン人が最も崇拝するタクツァン僧院への山登りでした。急峻な山道を2時間ほどの行程ですが、私たちは登りの途中までは馬に乗りました。乗馬は初めての経験で、しかも谷底も見えない細い山道を登るとあって緊張しましたが、命を馬に託して登った岩山は一生忘れない思い出になりました。僧院までは行けませんでした。展望台から間近に見るタクツァン僧院は神秘的で厳かでした。

最後に、中部空港に帰着したものの、私のトランクだけが行方不明。途中のタイ空港に置き去りにされていたとのこと。2日遅れで宅送されてきて、やっと安堵のブータン旅行でした。



▲タクツァン僧院を背景に



半田ロータリークラブのメンバーは、2年前に引き続き、僻地農業支援事業を行いました。

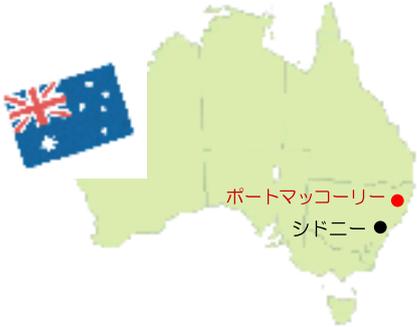




HANDA - PORT MACQUARIE



半田東高校では1991年から、希望をする生徒と共に、姉妹都市のオーストラリア ポートマッコリーへ体験旅行に行っています。2019年度からは、教育コースの授業の一環となります。



半田東高校
オーストラリア ポートマッコリー 親善訪問



半田東高校訪問団団長 松田 昌浩
(愛知県立半田東高等学校長)

7月26日から8月3日まで、生徒12名と教員2名の総勢14名でポートマッコリーを訪問しました。半田市とポートマッコリーとの姉妹都市提携が結ばれたのを機に、半田東高校がポートマッコリーを訪問するようになって、もう27回目となります。その間、両都市の国際交流協会のおかげで、ポートマッコリーのいろいろな学校とご縁ができ、さらにはホームステイを通して本校生徒が多様な文化に触れる機会も与えていただきました。両都市の『絆』に感謝の気持ちでいっぱいです。

今回、私自身は初めての訪問で、事前に聞いていたことと比較にならないほどの「おもてなし」に驚くばかりでした。他校で実施している姉妹校連携の話を見たときに、本校のポートマッコリー訪問がいかに恵まれたものであるかを実感させられる、そんな感動的な訪問でした。



▲筆者(左から2番目)。
Peta市長(中央)とともに



▲ホストファミリーと



▲訪問校で「大江戸吹雪」の披露



▲フェアウェルパーティーにて
(プレゼントした法被を着て)

訪問先の学校で▶



▲市庁舎議場で



■9月25日(火)

インターナショナル・トークカフェ
～半田の未来の国際化～



外国人の方と地域でどのように共生していくか、ゲスト(神田すみれさん・多文化ソーシャルワーカー)の話聞いた後、ゆったりとした雰囲気でお話しましょう。興味のある方は、お問い合わせください。

時間 18:30~20:30

場所 半田市福祉文化会館 視聴覚室



■10月21日(日)

入場無料

こんにちわ〜るとフェスティバル
～世界の人たちとあそぼう!～

時間 10:00~15:00

場所 半田赤レンガ建物内



楽しいパフォーマンスや催しがたくさん!
みんな遊びに来てね!

■11月25日(日)

日本語学習生対象「日本文化視察」研修旅行

今年は犬山へ行きます。

